



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



2024年1月18日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
代表者名 代表取締役社長 椎塚裕一
(コード番号 8925 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員 荻坂昌次郎
企画本部長
(TEL 03-5367-2001)

中期5ヵ年経営計画の取り下げに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年6月14日に公表いたしました中期5ヵ年経営計画（2023年7月期～2027年7月期）を取り下げることを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期5ヵ年経営計画の取り下げの背景

当社は、中期5ヵ年経営計画において、最終年度である2027年7月期に売上高約328億円、当期純利益約27億円、純資産170億円を達成し、2027年内にスタンダード市場からプライム市場へ市場変更することを目標として掲げ、その達成に向け尽力しておりました。

しかしながら、2023年9月28日、当社における不適切な会計処理に関する社外調査委員会の調査報告書を開示し、また、当該調査報告書を踏まえ、同月29日付で、過年度の決算内容の訂正を開示しました。これらを受け、2023年11月30日付「特設注意市場銘柄の指定、上場契約違約金の徴求および再発防止策の公表延期に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社は2023年11月30日付で株式会社東京証券取引所より特設注意市場銘柄に指定されました。

また、2023年12月15日付「2024年7月期第1四半期報告書に係る四半期レビュー報告書の結論の不表明に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、2024年7月期第1四半期の四半期財務諸表について、結論を表明しない旨の四半期レビュー報告書を監査法人から受領するとともに、同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失は、19億80百万円と大幅な赤字で着地いたしました。

以上の事象を踏まえ、今後、優先すべき事項は、人的資本を集中し、特設注意市場銘柄の指定を受けるにいたった原因究明及び再発防止策の策定・実行、特設注意市場銘柄の指定解除に注力すべきであることと捉えております。また現時点までの業績及び営業活動の進捗や今後の先行きが不透明な状況であること等も鑑みて、中期5ヵ年経営計画で掲げておりました2027年の数値目標及びプライム市場への市場変更の達成は困難であると判断し、中期5ヵ年経営計画を取り下げることにいたしました。

以上